

## ●宣教師ネイト・セイント

「このクリスマスの素晴らしいひとときに、キリストを知る私たちは、一度も福音を聞く機会もなく、キリストのいない暗闇に落ちていく人々の叫びを聞こうではないか。主がそうされたように、憐れみの心をもって動こうではないか。暗闇の中から連れ出されずにいる人々のために、悔い改めの涙を流そうではないか。ベツレヘムの喜びに満ちた光景の彼方に、ゴルゴダの丘の想像を絶する苦しみを見ようではないか。神よ。今、アウカ族をクリスマスと神の恵みから切り離して考えることはできません。神は富めるにもかかわらず、私たちのために貧しくなられました。それはその貧しさによって私たちが富める者とされるためでした。その永遠の愛によって、私たちが自らを省みることができるよう。主よ。私の心に語り、主の聖なる御心と、その中を歩む喜びを私に教えてください。」(『ジャングルの殉教者』 p.126)

## ○イエス様が示された“憐れみの心”

## 1. ご自分を\_\_\_\_\_に対してのもの(43-45)

(\*ルカ 4:16「それから、イエスはご自分の育ったナザレに行き…」)

※マタイ 13:54-58

「それから、ご自分の郷里に行って、会堂で人々を教え始められた。すると、彼らは驚いて言った。「この人は、こんな知恵と不思議な力をどこで得たのでしょうか。この人は大工の息子ではありませんか。彼の母親はマリヤで、彼の兄弟は、ヤコブ、ヨセフ、シモン、ユダではありませんか。妹たちもみな私たちといっしょにいるではありませんか。とすると、いったいこの人は、これらのものをどこから得たのでしょうか。」こうして、彼らはイエスにつまずいた。しかし、イエスは彼らに言われた。「預言者が尊敬されないのは、自分の郷里、家族の間だけです。」そして、イエスは、彼らの不信仰のゆえに、そこでは多くの奇蹟をなさらなかった。」

## 2. ご自分を\_\_\_\_\_に対してのもの(46-53)

▶「カペナウム」

▶「王室の役人」

▶「願った」

「苦しみは、神の薬の一つです。それによって、神は他のどんな方法でも学べなかったであろう教訓を教えてください。それによって、神は魂を罪とこの世から引き離し、そうでなければ、永遠に滅びていたであろう者たちを救い出されます。健康は大いなる祝福ですが、聖められた病はそれ以上のものです。繁栄やこの世の快適さは、誰もが自然に求めるものです。しかし、もし損失や試練がキリストのもとへと私たちを導くのであれば、それらの方が遥かに良いのです。最後の日には、何千もの人々がダビデと共に証言するでしょう。『苦しみに会ったことは、私にとってしあわせでした。』（詩篇 119:71)」（JC ライル）

※ヨハネ 16:33

「わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を持つためです。あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」

3. ご自分を \_\_\_\_\_ に対してのもの(53b-54)